

年頭のごあいさつ



※平成26年10月撮影

鞍手町長 徳島眞次

新年あけましておめでとうござい
ます。

町民の皆様におかれましては、希
望に満ちた輝かしい新春をお迎えの
ことと心からお慶び申し上げます。

早いもので、平成25年1月に町民
の皆様への負託を受け町長に就任して
以来、間もなく2年が経過し、町長
の任期4年の折り返し地点を迎えよ
うとしています。この間、町政の推
進に寄せられました温かいご理解と
ご協力に対し心からお礼を申し上げ
ます。

さて、昨年の社会情勢を振り返つ
てみますと、4月の消費税増税によ
り国民生活はさらなる負担を強いら
れます。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

平成27年元旦

れることとなり、景気は大きな落ち
込みを示しました。また、年末には
衆議院が解散され、消費税率の引き
上げ延期を含む、アベノミクスの3
本の矢と呼ばれる金融政策、財政政
策、成長戦略の継続の是非を最大の
争点とした総選挙が行われました。

昨年5月に有識者で構成された
日本創成会議では2040年には
896の自治体が消滅する可能性が
あり、本町では20〜39歳の女性の人
口が約7割減少するという衝撃的な
発表がありました。本町におきま
しては、この苦境を打開すべく、さ
まざまな施策、事業に取り組んでい
るところです。

企業誘致につきましては、中山用
地に4社目の進出企業として、昨年
11月に和菓子製造業の企業と契約し、
平成28年3月の操業開始に向け、準
備が進んでおります。これにより新
たな雇用も見込まれます。さらには、
鞍手インターチェンジの利用、本年
3月完成予定の遠賀川渡河橋の供用
開始に伴い、交通アクセスの利便性
が増し、さらなる発展が見込まれま
す。

また、中学校の統合につきましては
は校舎の改築や体育館などの新築工
事も順調に進んでいます。今後も保
護者の皆様や地域の皆様など多くの
方々から貴重なご意見をいただきな
ります。

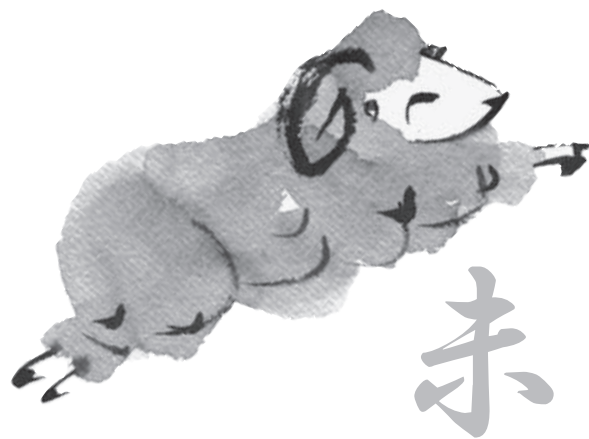
がら、通学に関する課題などの諸条
件の整備に取り組み、子どもたちに
充実した教育環境を提供できるよう
努めてまいります。

さらに、地方独立行政法人くらて
病院につきましては、地域の皆様か
らの要望が多く寄せられた小児科の
外来診療を昨年11月より毎週曜日
と水曜日に開設し、また、本年1月
からは地域医療の核となる病院とし
て充実した救急医療サービスを提供
できるよう、理事長以下職員一丸と
なつてご努力いただいているところ
です。

このように、近年、本町を取り巻
く環境は大きく変化しています。

今年も、町民の皆様と共に知恵と
力を出し合い、鞍手町を「魅力ある
住みたい町」「老若男女すべての人が
笑顔で暮らせる町」にしていくこと
を目標に、未来に繋がるまちづくり
に邁進して参りますので、なお一層
のご支援を賜りますようお願いし
願ひ申し上げます。

終わりに、新しい年が町民の皆様
と鞍手町のさらなる飛躍の年となり
ますよう祈念申し上げます。新年のごあ
いさつとさせていただきます。



未